



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト

令和6・7年度の災害

国管理河川(直轄管理区間)のうちR6、R7年度に氾濫危険水位を超過した河川は1河川となった。

● 氾濫危険水位超過

姫路河川国道事務所

R6.5.28 揖保川水系林田川

R7 該当なし

豊岡河川国道事務所

R6、R7 該当なし

猪名川河川事務所

R6、R7 該当なし



揖保川水系林田川 誉水位観測所出水状況

＜被害の状況等＞

- 6日明け方から北陸地方を中心に前線が停滞し、富山県、石川県などで大雨を記録。また、九州南部に前線が停滞し、8日には、鹿児島県霧島市に大雨特別警報が発表。11日には、熊本県玉名市、長洲町、氷川町、宇城市、八代市、上天草市、天草市に大雨特別警報が発表。
- 10県（秋田県、新潟県、富山県、石川県、島根県、山口県、福岡県、長崎県、熊本県、鹿児島県）の4.9水系6.7河川において浸水被害を確認。（浸水解消済み）
- 秋田県、山形県、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、京都府、和歌山県、広島県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県内の8.7ダムで洪水調節を実施した。

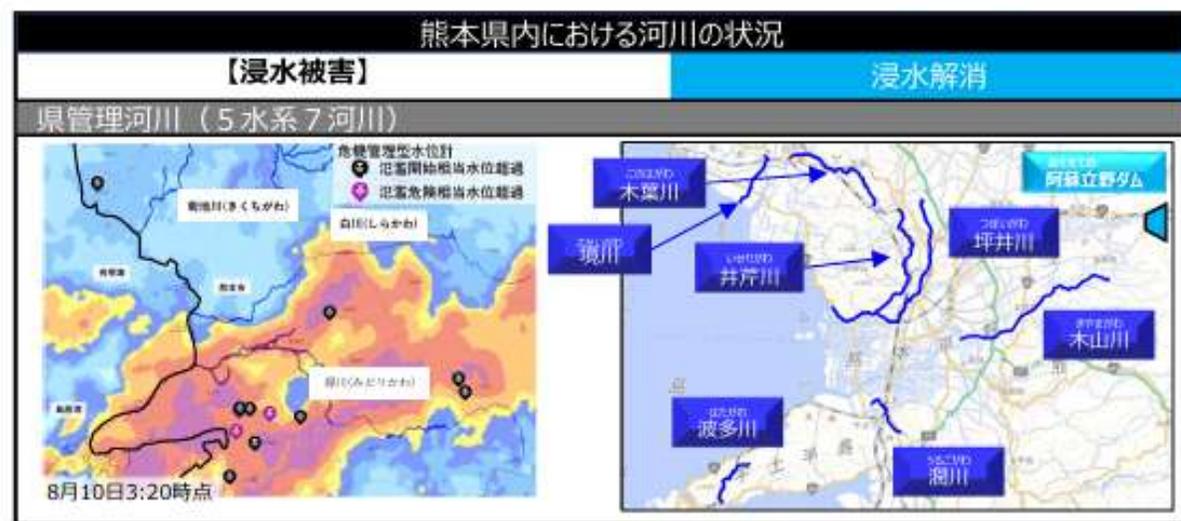
8月6日からの大雨に伴う
河川の浸水被害状況（浸水解消済み）

秋田県	2水系	2河川
新潟県	1水系	1河川
富山県	6水系	9河川
石川県	9水系	11河川
島根県	1水系	2河川
山口県	2水系	2河川
福岡県	10水系	19河川
長崎県	6水系	6河川
熊本県	5水系	7河川
鹿児島県	7水系	8河川

計：4.9水系6.7河川



○鹿児島県・石川県・熊本県における被災状況



令和7年8月6日から大雨による土砂災害発生状況

土砂災害発生件数

244件

〔 土石流等 : 36件
がけ崩れ : 197件
地すべり : 11件 〕

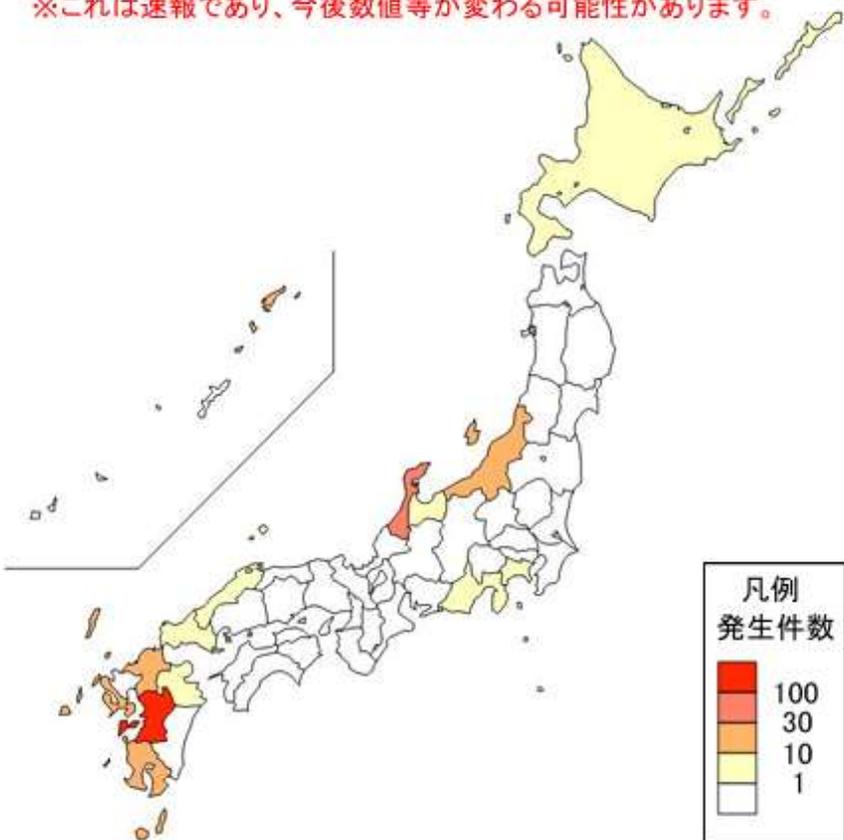
【被害状況】

人的被害 : 死者2名
負傷者2名
人家被害 : 全壊4戸
半壊13戸
一部損壊57戸

発生件数内訳

北海道	1件
神奈川県	1件
新潟県	13件
富山県	8件
石川県	31件
静岡県	1件
島根県	3件
山口県	4件
福岡県	20件
長崎県	15件
熊本県	129件
大分県	1件
鹿児島県	17件

※これは速報であり、今後数値等が変わる可能性があります。



8/10 8/10 8/10
がけ崩れ きたきゆうしゅう わかまつく こいしほんむらまち
福岡県北九州市若松区小石本村町



8/7 8/7 8/7
がけ崩れ かなざわしひがしやま
石川県金沢市東山



8/11 8/11 8/11
がけ崩れ かみましきぐん こうさまち とようち
熊本県上益城郡甲佐町豊内



8/8 8/8 8/8
がけ崩れ あいらし かもうちよう
鹿児島県始良市蒲生町



8/11 8/11 8/11
土石流等 やつしろし こうぜんじまち
熊本県八代市興善寺町



8/8 8/8 8/8
土石流等 きりしましふくやまちよう
鹿児島県霧島市福山町



・TEC-FORCE派遣人数 のべ974人・日
・災害対策用機械等 のべ 89台・日

- ホットラインを全国の94自治体(64市28町2村)と構築し、リエゾンを19自治体(6県庁14市6町)に派遣し自治体のニーズを把握。
- 被害の迅速な全容把握のため、防災ヘリコプター（ほくりく号(北陸地整)、きんき号(近畿地整)、はるかぜ号(九州地整)）、TEC-FORCE隊員の被災状況調査班及び高度技術指導班等を派遣（北陸地整、九州地整、国総研）により被災状況調査を実施し、被災地の早期復旧を支援。
- 災害対策用機械等（排水ポンプ車、散水車(給水装置付)等）を派遣し、排水支援や断水した地域に給水支援を実施。
- 通信が途絶された自治体においては、衛星インターネット装置を貸与し通信環境を確保。

■自治体のニーズを把握(リエゾン)



自治体職員との情報共有
(熊本県美里町)

■被災状況調査



被災状況調査(道路)
(熊本県宇城市)



被災状況調査(ドローン)
(熊本県甲佐町)



■通信環境確保



衛星インターネット装置
(熊本県上天草市)

■被災状況調査(防災ヘリ)



防災ヘリによる調査
(熊本県)



防災ヘリによる調査
(石川県)

■災害対策用機械等(排水ポンプ車・散水車(給水装置付)等)



排水ポンプ車による排水支援[内水排除]
(石川県金沢市)



散水車(給水装置付)による給水支援
(鹿児島県始良市)

